

教育研究審議会議事録

第8回公立大学法人宮城大学教育研究審議会（平成21年11月定例会）	
開催日時	平成21年11月18日（水）14時30分～18時40分
開催場所	大和キャンパス本部棟4階 応接会議室
出席者	馬渡、白石、保理、武田、金子、大和田、池戸、桑名、大泉、徳永（恵）、山田、西川、吉田、真覚、梶、蒔苗、本藏、加藤、坂本（21名中19名出席）
欠席者	鈴木、三石
委員以外の出席者	弓谷（三石委員代理）、日原
事務局	小林、中村、新妻、眞山、佐々木、諸星
議事概要	<p>1 教育研究審議会議事録について</p> <p>（1）第7回審議会議事録の確認について 原案どおり全会一致で承認された。</p> <p>（2）第8回審議会議事録署名人の指名について 議事録署名人に大泉委員が指名された。</p> <p>2 審議事項</p> <p>（1）入学試験の作題・採点要領について 資料1 平成23年度以降の入学試験に係る作題・採点要領案について、理事長から逐条の説明があり、平成22年3月までに23年度入試に係る作題委員を任命予定であることが併せて説明された。委員から提案のあった次の2点の修正を加えた上で全会一致により承認され、理事会に諮ることとされた。 【修正事項】 ・第12、英語4、「初代委員長は～とする。」を括弧書き（ ）にする。 ・第12、数学4、「数学作題委員長を」を「<u>数学作題委員長は</u>」に修正</p> <p>（2）平成22年度非常勤教員人件費について 資料2 大和田理事より、各学部・研究科等の削減努力の結果、平成22年度非常勤教員人件費予算額は中期計画に基づく予算額である45,421千円と同額となったことが説明された。理事長から、非常勤教員人件費については、次年度に向け就任依頼の手続を早期に行う必要があることから、予算審議を前倒ししたものであること等について説明があった。 本予算額は原案のとおり全会一致で承認され、理事会で決定することとされた。なお、理事会の決定した「平成22年度非常勤教員人件費予算割り当ての方針について」に対し、学務入試委員会との関係、特任教員の取扱い等について質問や意見があった。</p> <p>（3）コピー費管理について 資料3 これまでコピー機と予算をリンクさせ、枚数・金額制限なしに執行されてきたコピー費について、「研究用コピー費」、「教育用・教育組織運営用コピー費」等、コピーの用途に従って予算項目を設け、管理責任者を決めて執行管理していくことを内容とする「コピー費予算配分と執行管理方式の案について」が理事長から説明された。委員から、主としてユーザーの立場からの意見や質問があり、これらも参考にして、理事会で決定することとされた。</p> <p>3 報告事項</p> <p>（1）理事長・学長報告</p> <p>①第12回理事会について 報告資料1</p>

教育研究審議会議事録

10月28日に第12回理事会（定例会）が開催され、宮城県最低賃金の改正に伴い学部学生に支払う謝金の時間単価を引き上げる宮城大学学生アシスタント取扱規程の一部改正が承認されたこと、平成22年度非常勤教員人件費予算割り当ての方針を定めることが承認されたこと、平成22年4月1日付けで食産業学部にも所属する准教授1名の採用が決定されたこと、看護学研究科博士課程の設置に伴い看護マネジメントを専攻する教員1名の採用に係る人事計画書案が承認されたこと等が報告された。

②県との連絡調整会議について

報告資料2

本日、県と法人で組織する公立大学法人宮城大学連絡調整会議が開催され、公立大学法人宮城大学の業務実績評価の考え方について協議が行われ、法人の事業年度評価、中期目標期間暫定評価及び中期目標期間評価の実施について定めた「公立大学法人宮城大学の業務実績に関する評価の実施要領（案）」に係る法人の意見を提出したこと、連絡調整会議の構成員に池戸理事が加わることとなったこと等が報告された。

また、業務実績評価に関連し、平成21年度年度計画について、各責任者・組織の行った前期の進捗状況報告に対し、報告資料2-2のとおり理事長室で評価を実施したこと、県に提出する業務実績報告書の様式は報告資料2-3のとおりであることが報告された。

③特別選抜試験（推薦・帰国子女）について

報告資料3

11月26日実施予定の特別選抜試験（推薦・帰国子女）について、出願状況が報告され、併せて入試実施本部の決定に基づき新型インフルエンザ対応として12月2日に追試験を行うこと、他の選抜試験についても報告資料3-4のとおり追試験の日程を決定したことが説明された。

④新型インフルエンザ対応について

報告資料4

報告資料4のインフルエンザ定点当たり報告数推移では、11月2日からの第45週で宮城県は全国的に見ても報告者数が多く、上位5県に入ること、本学におけるインフルエンザの発生状況としては、本日18日時点で12名が自宅待機していることが報告された。

⑤組織評価追加配分予算措置について

報告資料5

組織評価結果に基づき追加配分された予算について、対象となる学部・研究科等から学部等改善経費予算明細書が提出され、平成21年度第1次補正予算として措置したことが報告された。

⑥認定看護師スクールにつて

報告資料6

徳永認定看護師スクール長より、宮城県内の皮膚・排泄ケア認定看護師数は平成20年に全国36位であったが平成22年度には第6位となると推計されており、宮城県では3カ年の事業期間満了により平成23年度以降は認定看護師スクール事業の委託を行わない意向であること等が報告された。理事長から、法人としての平成23年度以降の認定看護師スクールの存続については、第3期生の応募状況も見ながら、12月までに検討委員会を設けて検討する予定であること、法人からの持ち出し（財政負担）なしで実施することが原則であること等が説明された。

⑦年末までの会議等のスケジュールについて

報告資料7

報告資料7により、年末までの会議等スケジュールが確認された。

⑧その他

「週刊東洋経済」、「日経グローバル」、「大学のランキング」の大学をランク付けした記事が紹介された。

(2) 教授会審議状況報告

①看護学部（桑名学部長）

報告資料8

教育研究審議会議事録

11月4日に第5回教授会を開催し、専任教員が新たに授業科目を担当する際の審査について定めた「専任教員の科目担当に関する申し合わせ」、平成22年度特別選抜試験（推薦入学・帰国子女）実施要領、教員採用に係る選考委員の選出等について審議したこと等が報告された。

②事業構想学部（大泉学部長）

報告資料9

10月28日に第4回教授会を開催し、平成22年度非常勤講師予算、組織評価配分予算の用途について審議したことが報告された。

③食産業学部（池戸学部長）

報告資料10

11月11日に第8回教授会を開催し、平成22年度前期研究生募集要項、学都仙台単位互換ネットワーク単位互換学生、他学部・他学科授業科目の履修について審議したことが報告された。

④看護学研究科（武田研究科長）

報告資料11

11月4日に教授会を開催し、9月及び10月に開催された運営会議の報告がなされたことが報告された。報告事項のうち、博士後期課程入学者選抜試験実施骨子については、現在、募集要項の検討を行っており、今月中に関係機関に配布予定である旨説明があった。

⑤事業構想学研究科（金子研究科長）

報告資料12

10月28日に第4回教授会を開催し、平成22年度非常勤講師予算について学部の対応に協力すること、組織評価配分予算の用途については学部分と併せて申請することが承認されたことが報告された。

⑥食産業学研究科（池戸学部長）

報告資料13

11月11日に第7回教授会を開催し、平成22年度前期研究生募集要項について審議したこと、11月21日に実施される修士課程入試、博士課程設置に係る準備委員会について報告がなされたこと等が報告された。

学内委員会等報告について

①評価委員会

※ なし

②学務入試委員会（武田委員長）

報告資料14

11月4日に学務入試委員会を開催し、平成22年度の学年暦、授業回数、FD日程の検討を行い、従来の補講を振替とし、半期で15回の授業回数を確保した上で、補講期間、集中講義期間を設けること、FD学部・研究科部会を同日開催とすること等について、学部・研究科合同学務専門部会で検討すること、科目等履修生に対する科目提供方針について、講義科目は原則として提供する方針とすることが承認された旨報告された。また、平成22年度大学入試センター試験の学部毎従事方針について、新型インフルエンザ対応のため、中心的に従事する事業構想学部、食産業学部の教員のほか、看護学部の教員が支援することについて承認されたことが報告された。

③学生生活委員会（日原キャリア開発室長）

報告資料15

11月2日現在の内定状況について報告があり、キャリア開発室では、内定率の10%アップを目標に、未内定者をリストアップした上で、同室の支援状況、関わりに応じてランク付けし、学部と連携を図りながら支援を強化している旨説明があった。

④研究委員会（金子委員長）

報告資料16

10月28日に研究委員会を開催し、国際学会等発表旅費の審査を行い、4件を承認し、執行率が76%、残150万円となっていること、中期計画・年度計画関連事項について検討したこと等が報告された。国際学会等発表旅費について、旅

教育研究審議会議事録

費規程では3年に1度支度料が支給されるが、現状に合致しないため、対象者に辞退を依頼して予算を有効利用している状況であるので、今後、見直す必要があるとの意見が出ていることが説明された。

⑤共通教育運営委員会（武田委員長）

報告資料17

11月11日に共通教育運営委員会を開催し、理事会が決定した「平成22年度非常勤教員人件費割り当ての方針について」に関し、方針5に該当する67歳以上の非常勤講師予定者が3名いることから検討を行い、平成23年度には閉講予定の科目であること等から、理事長の承認を得て引き続き依頼することが承認されたこと、前期授業科目について実施した授業評価の取りまとめ方法等について学務委員会で検討することが承認されたこと等が報告された。

⑥総合情報センター運営委員会（山田委員長）

報告資料18

本日、総合情報センター運営委員会を開催し、平成22年度の学術洋雑誌の契約結果が大和キャンパスで72タイトル605万円、太白で34タイトル448万円となったこと、4年生の卒業研究等に備えたプリント出力制限枚数の限定的な緩和を行うこと等について報告、協議がなされたことが報告された。

⑦国際センター運営委員会（弓谷副センター長）

報告資料19

10月28日に国際センター運営委員会を開催し、CNNの導入について協議した結果、学内のインフラが整備されないと費用が嵩むこと、学生の需要が不明であること等から、無理に導入する必要はないとの結論となったこと、12月19日開催予定のプレゼンテーションコンテストに10数名が出演予定であること、10月24日開催の第6回高校生英語スピーチコンテストにおいて出場者20名中4名が入選したこと等が報告された。

⑧地域連携センター運営委員会（西川委員長）

報告資料20

11月7日に地域連携センター運営委員会を開催し、マルシェ・ジャポン・センダイへの参加、農商工連携プロデューサー育成塾との連携等について審議されたこと、11月5日に開催した地域連携シンポジウム「芸術からひろがる環境」が150名超の参加を得て好評であったこと、今年度中に白石市との連携協定を締結予定であること等の報告がなされたことが報告された。

⑨その他

- ・法人職員の採用について、発足後6年間で事務職員の75%を法人固有の職員（プロパー職員）とする計画であるが、平成22年4月には7人を採用予定であることが白石副理事長より報告された。
- ・学習奨励基金に係る外部への寄附募集について、寄附を募る企業リストを提出済みであるのは看護学部をはじめ少数であることから、未提出の学部、実施部員に大和田理事から改めて協力の依頼があった。

この議事録は、公立大学法人宮城大学第8回教育研究審議会議事録である。

平成21年12月25日

公立大学法人宮城大学教育研究審議会 議長 馬 渡 尚 憲

議事録署名人 大 泉 一 貴